

いのちと健康・兵庫センターニュース

2016年4月号

発行者：働くもののいのちと健康をまもる兵庫センター

「ストレス対応を学び、知り」「仲間をつくり」「社会を変革して」健康な職場を！



いのちと健康兵庫センター第4回定期総会が2月6日に兵庫県勤労会館で10団体、19名の参加で開催されました。

記念講演は、いのちと健康・兵庫センター副理事長の千古先生（神経科医）が「メンタルヘルスケアについて～ストレスにどう向き合うのか～」と題して、増え続ける精神障害等に係る労災補償数、過労死、過労自死の労災補償など具体的な社会状況の中でどのように職場で改善を進めるのかを、具体的な実践の

中で経験を踏まえて講演されました。「ストレス対応を学び、知り」「仲間を作り」「社会を変革する」ことの重要性を強調されました。

いのちと健康・兵庫センターを発展強化しよう！！



1年間の総括・方針では、門事務局長より、まず兵庫の光通信・過労死認定裁判および損害賠償訴訟が勝利解決し、全国的にはワタミ・過労自死裁判が「懲罰的慰謝料」「再発防止」などの内容で勝利和解したことが報告されました。

しかし一方で「ブラックバイト」が流行語になり、政府・厚労省が労働時間規制の撤廃を企むなど、ますます、いのちと健康・センターの奮闘が求められており、そのためにも財政基盤や人的体制の強化が急務であることが訴えられました。

団体10・個人50の会員獲得目標をかかげ、引き続き1年間奮闘することを総会参加者の総意として確認しました。

学習・講演会のご案内

健康で安全な 職場づくりを

第12回 労働安全衛生中央学校のご案内

多くの職場で長時間・過密労働が深刻化しています。その背景には、もうけ第一主義で進められてきた規制緩和・構造改革があります。人員不足の一方で増やすのは派遣や契約など非正規の職員ばかり。その状況は、働く人ばかりではなく、利用者や消費者への安全をも脅かしています。

第12回いのちの健康センターの労働安全衛生中央学校では、「料金が安いことは良いことか」「長時間労働は仕方のないことか」など、多くの職場で課題となっている長時間・過密労働について今日的に考えていきます。グループワーク、経験交流を含め、職場づくりの実践力を養います。健康で安全な職場づくりのために、ぜひ、ご参加ください。

と き

2016年

5月14日(土) 13:00~
15日(日) 12:00

ところ

全国家電会館 (東京都港区福丸)
〒113-0034 東京都港区8-6-1
(TEL:03-3832-4291)
(地下鉄千代田線福丸駅より徒歩3分/
JR有明駅/水戸線より徒歩12分) ※地図参照

記念講演

「軽井沢バス事故の
背景にあるもの
—規制緩和による
労働実態を考える」

講師：安部純治氏
(関西大学教授/公益事業論/交通政策論)

プログラム 視察参観

参加費 8,000円 (全日参加型) ※1日のみ参加の場合4,000円です
※申し込み遅い場合は定額です。

働くもののいのちと健康を守る全国センター

TEL: 03-5842-5801 FAX: 03-5842-5802 e-mail: info@inoken.gr.jp



ストレスチェックを活用し、安全で働きがいのある職場づくりを進めましょう。
安全な職場づくりは労働組合の賃金・労働条件改善と同じ大切な要求です。
「ストレスチェック」のアンケート、要求作りを進めましょう。